

## 第2学年 「国語」

### 1 学習の目標

- 自分の考えを、目的や場面に応じて話したり聞いたりできるようにしよう。
- 自分の考えを、しっかり書き表せるようにしよう。
- 様々な文章を読んで、内容をしっかりつかめるようにしよう。

#### 【知識・技能】

- 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができる。

#### 【思考・判断・表現】

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使うことができる。

### 2 評価の観点・方法

#### ◇評価の観点

##### 【知識・技能】

- 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使っている。

##### 【思考・判断・表現】

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりしている。

##### 【主体的に学習に取り組む態度】

- 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使っている。

#### ◆評価の方法

##### (1) 授業中の活動の評価

- 「話す」「聞く」「書く」「読む」学習活動を積極的かつ指示を理解し適切に行っているか。特に、国語に興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいるかどうかの評価。
  - ・授業時の発言内容、テーマに沿った口頭発表とその相互評価。
  - ・ノートへの発言内容の記録状況、予習や復習の取組

##### (2) 学習の成果及び提出物

- 授業で書いた作文や、使用したワークシート類からの評価
  - ・ノートやワークブック、ワークシートの取組

##### (3) 各種テストによる評価

- 点数化されたテストによる客観的評価。
  - ・定期テストならびにその前後に行われる漢字テスト。
  - ・単元で授業開始時に行う発表、質疑応答テスト

##### (4) その他

- ・硬筆、書きぞめの取組、書写技術、長期休業中の課題。

### 3 学習のポイント

- 文章の構成や展開、筆者の意図をとらえて読むことができるようにしましょう。
- 中学2年生教科書掲載作品程度の平易な文章をなめらかに音読することができるように、家庭学習で継続して音読練習をしましょう。
- 課題とされている条件に合わせて、伝えたい内容や自分の考えをはっきりさせて書くことができるようにしましょう。
- 主述の照応等、文法的に正しく、かつ誤字のない文章を書くことができるようにしましょう。
- 小学校学習漢字と中学校1・2年生教科書の新出漢字を正しく読み、書くことができるようにしましょう。筆順にもこだわり、問題集を活用して先に学習を進めましょう。

#### 4 学習内容と学習のねらい

学期	学習内容	学習のねらい
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇見えないだけ</li> <li>◇アイスプラネット</li> <li>◇問いを立てながら聞く</li> <li>◇枕草子</li> <li>◇多様な方法で情報を集めよう</li> <li>◇漢字1 熟語の構成</li> <li>◇クマゼミ増加の原因を探る</li> <li>◇硬筆</li> <li>◇説明のしかたを工夫する</li> <li>◇魅力的な提案をしよう</li> <li>◇メディアの特徴を生かして</li> <li>◇言葉1 類義語・対義語・多義語</li> <li>◇短歌に親しむ</li> <li>◇短歌を味わう</li> <li>◇言葉を比べよう</li> <li>◇言葉の力</li> <li>◇文法への扉1</li> <li>◇単語をどう分ける？</li> <li>◇「わからない」は人生の宝物</li> <li>◇読書案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○好きな表現を見つけ、感じたことが伝わるように声を出して読み合います。</li> <li>○登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉えながら作品を読み取ります。</li> <li>○説明や提案など伝えたいをことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりします。</li> <li>○古文に読み慣れ、作者と自分の四季についての感覚を比べます。</li> <li>○社会生活の中から紹介する事柄を決め、多様な方法で情報を集めながら、自分の考えをまとめます。</li> <li>○二字、三字、四字以上の熟語の構成について理解します。</li> <li>○文章の構成や、事実と考えの示し方に着目して、説明のしかたの特徴を捉えます。</li> <li>○横書きの楷書で正しく美しく書きます。</li> <li>○幾つかの説明の工夫を知り、身近な物について説明します。</li> <li>○多様な方法で発表する材料を集め、聞き手を意識して材料を整理します。</li> <li>○さまざまなメディアの特徴を知り、適切な情報を選んで活用します。</li> <li>○類義語、対義語、多義語それぞれの意味や用法について正しく理解し使えるようにします。</li> <li>○短歌の中で歌われている情景や作者の思いを想像し、感想を交流します。</li> <li>○似た気持ちを表す言葉の微妙な違いを身につけます。</li> <li>○「言葉の本質」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深めます。</li> <li>○自立語と付属語、単語の分類について理解します。</li> <li>○戦争や平和について話し合います。</li> <li>○様々な種類の本を読み、読書習慣を身につけます。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇盆土産</li> <li>◇字のない葉書</li> <li>◇推敲 表現の効果を考える</li> <li>◇表現を工夫して書こう</li> <li>◇モアイは語る 地球の未来</li> <li>◇言葉2 敬語</li> <li>◇漢字2</li> <li>◇同じ訓・同じ音を持つ漢字</li> <li>◇扇の的「平家物語」から</li> <li>◇仁和寺にある法師</li> <li>◇「徒然草」から</li> <li>◇漢詩の風景</li> <li>◇君は「最後の晩餐」を知っているか</li> <li>◇魅力を効果的に伝えよう</li> <li>◇話し合って考えを広げよう</li> <li>◇根拠の適切さを考えて書こう</li> <li>◇研究の現場によろこ</li> <li>◇文法への扉2</li> <li>◇走る。走らない。走ろうよ。</li> <li>◇書きぞめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品の構成や登場人物の描写に着目して、人柄や心情を読み取ります。</li> <li>○父親に対する「私」の思いを捉え、自分の考えを持ちます。</li> <li>○手紙の書き方について理解し、相手や目的に応じた手紙を書きます。</li> <li>○文章の構成や論の展開に着目して、筆者の主張を捉えます。</li> <li>○敬語の働きとその種類について理解し、適切に使えるようにします。</li> <li>○同音異義語や同訓異字を文中で的確に使えるようにします。</li> <li>○古文を朗読して、独特の調子やリズムに慣れ、作品を読み味わいます。</li> <li>○登場人物の行動描写や心情をつかみながら読み、昔の人のものの見方や考え方に触れます。</li> <li>○漢詩特有の言葉遣いや調子を生かし読み味わい、昔の人の心情に触れます。</li> <li>○言葉や表現の工夫に注意しながら筆者のものの見方や考え方を読み取ります。</li> <li>○相手の考えを受け入れながら、自分の意見を述べます。</li> <li>○相手の立場や考え方を尊重し、互いの発表を検討しながら討論します。</li> <li>○災害時における情報の大切さについて、知ったこと、考えたことを話し合います。</li> <li>○用言の特徴と活用のしかたについて理解します。</li> <li>○字形と筆順に注意して行書で正しく書きます。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇構成や展開を工夫して書こう</li> <li>◇意見文を書く</li> <li>◇木</li> <li>◇走れメロス</li> <li>◇文法への扉3</li> <li>◇一字違いで大違い 表現のしかたを工夫して書こう</li> <li>◇言葉3 話し言葉と書き言葉</li> <li>◇漢字3 送り仮名</li> <li>◇一年間の学びを振り返ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○立場とそれを支える根拠を明確にし、構成を工夫しながら意見文を書きます。</li> <li>○感じたことを話し合います。</li> <li>○言葉の意味を考えながら、作者が詩に込めた思いを捉えます。</li> <li>○付属語の意味用法について理解します。</li> <li>○気持ちの変化が効果的に伝わるようにある視点を定め表現を工夫して書きます。</li> <li>○地域により、言葉が違うことを理解し、自分たちの言葉について考えます。</li> <li>○送り仮名の原則と例外を覚えます。</li> </ul>